

「教育用語辞典」第25回です。今回は選択問題です。文中の「」に入る適当な言葉はどちらでしょうか。選んでみてください。

## 【体験活動】

〔たいけんかつどう〕

レベル★

体験活動とは、自分の身体を通して実際に経験する活動のことで、つまり、子どもたちが五感を働かせて対象とかかわり、学んでいく活動のことである（体験活動事例集「文科省」。方法によって、「直接体験」「間接体験」「A擬似 B模擬 体験」に分類され、内容によって、「生活・文化体験」「自然体験」「社会体験」に分類される。近年は「A直接 B間接」体験の不足が課題となっており、平成25年1月に「今後の青少年の体験活動の推進について」の答申が出された。

## 【生徒指導主事】

〔せいとしどうしゅじ〕

レベル★★★

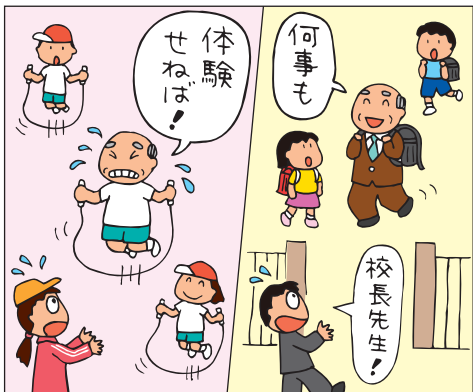
中学校、高等学校等に置くものとされる主任の一つ。生徒指導に関する事項を司る。生徒指導の本質は、全ての児童生徒の自己【A指導 B実現】能力の開発であり、児童生徒の成長・発達を促進する側面と、現実的な問題解決を図る側面とがある（「生徒指導に関する教員研修の在り方について」文科省）。近年はいじめ問題等への対応も増えているため、生徒指導主事の設置を【A幼稚園 B小学校】にも義務づけるという対応をする自治体も見られる。

## 【情報活用能力】

〔じょうほうかつようのうりよく〕

レベル★★★★

情報活用能力は次の3観点から構成される。①情報活用の【A実践力 B理解力】 ②必要な情報を主体的に収集・処理し、発信・伝達できる能力 ③情報の科学的な理解 ④情報手段の特性の理解と、自らの情報活用を評価・改善するための理論や方法の理解 ⑤情報社会に参画する態度 ⑥情報の役割と影響や、情報モラルについて考える態度。文部科学省では、3観点の実現状況を調べるため、平成25年11月から26年1月に「情報活用能力【A基本調査 B調査】を行う予定。



## 【解答】

【体験活動】 A A

【生徒指導主事】 A B

【情報活用能力】 A B